

相続は財産だけじゃない

「相続」という言葉を聞くと、すぐに財産の承継のことをイメージする方が多いでしょう。しかし、財産だけでなく、人生で大切にしてきた思いや考え、先祖代々の家訓や伝統、文化といった、形にならないものも、次世代にきちんと伝え、引き継いでいくことが大切だと考えます。そして、伝え方も、元気なうちから言葉で話す方法や、遺言書の中に「手紙」(付言事項)をしたためる方法もあります。将来日本に生まれてくる子孫が「この国に生まれてよかった」と思える社会を残していきましょう。



司法書士法人あかりテラス  
相続専門行政書士  
山下 託史



2026.1.5 健軍神社にて



対面での交流を大切にする

新しい年を迎え、皆様元気で過ごしのことと思います。あかりテラスは昨年、「相続漫才®」をはじめとする講座を78会場・延べ1,669名の方にお届けしました。また、無料相談会では新規相談730件をお受けしました。今年も「漫才」と「相談会」の二本柱で、円満相続が当たり前の世の中を目指して活動してまいります。AI(人工知能)がさらに進化し、様々な手続きがスマホ一つで完結する時代が目の前まで来ています。そんな時代でも、あかりテラスは、漫才と相談会を通じて、人の息遣いや手触りを直に感じられる、対面での交流やコミュニケーションを大切にしていきます。 代表司法書士 宮村和哉

彫って彫って彫って

魯人です。昨年末、我が家の大掃除をしていたとき、思いがけず目に止まった子供用の彫刻刀。手に取るのは何十年ぶりだろう。平刀、丸刀、三角刀。少年時代が懐かしくなって、私の中の「表現者魂」がズブズブして止まらない。どうにも彫りたい衝動が抑えられず、掃除の手を止め、版画板など道具を買いにDesakiへ直行。道具も揃ったところで、いざ制作開始。ラフスケッチもそこそこに、彫刻刀を手に版画板に向かう。彫って彫って彫りまくる。慎重に、時には大胆に。彫刻は楽しい。作品を彫り終わると、次はいよいよ刷りの工程だ。好みのインクのノリ具合を探して一枚、また一枚。そして納得の一枚が刷り上がると、心を満たす疲労感と達成感。年の瀬に版画もいいかもしれない。その晩掃除が終わらず、妻に叱責を受けたのはご愛嬌。



新年にふさわしい獅子舞。約6時間かけた力作です。

